

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	プレゼンテーション I		(TGB229)
講義名（コード）	TGB_プレゼンテーション I_A		(TGB229A)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	渋谷 里美	時間数	30
成績評価教員	渋谷 里美	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	時事問題などを中心に現代社会における諸問題を多国籍の学生とのディベートや発表を通して深く多角的な視点で理解し、国際社会の一員としての教養を身につける。
授業時間外の学修	提示されたテーマについて理解を深めるために予習が必須である。
履修上の注意事項等	自身の考えをまとめ、明確に表現し、他者と意見を交換するため、積極的に授業に参加する姿勢が必要となる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	国際人とは何か理解できる	ガイダンス（年間授業スケジュール） 目標設定
2	自己分析① 自身を分析し経歴を簡潔に述べることができる 時事問題①	自分の経歴をまとめる ニュースについて意見交換、シャドーイング
3	自己分析② 就活面接で自己紹介ができる 時事問題②	自分の経歴をまとめる→自己紹介 ニュースについて意見交換
4	自己分析③ 仕事について考える 時事問題③	自分がやりたい仕事について考える ニュースについて意見交換、『20日で合格N1』 第1回 文法、シャドーイング
5	自己分析④ ESや面接で自分を上手にアピールできる、時事問題④	自分をアピールする、「これまで頑張ってきたこと（仮）」作文 ニュースについて意見交換 『20日で合格N1』 第2回 文法、シャドーイング
6	仕事① 自分が目指す業界・業種・職種について述べるができる、時事問題⑤	業界・業種・職種 業界・企業研究の方法 ニュースについて意見交換 『20日で合格N1』 第3回 文法、シャドーイング
7	仕事② 求人情報を収集する方法を学ぶ 時事問題⑥	求人情報を収集する ニュースについて意見交換、『20日で合格N1』 第4回 文法、シャドーイング
8	仕事③ 求人情報を読み、自分の希望に合うか判断できる 時事問題⑦	求人情報 ニュースについて意見交換、『20日で合格N1』 第5回 文法、シャドーイング
9	自己PR① 自己PRを考えられる 時事問題⑧	自己PRをグループで考える ニュースについて意見交換、『20日で合格N1』 第6回 文法、シャドーイング
10	自己PR② 自己PRを書ける・述べられる、時事問題⑨	自己PRを書いて発表する ニュースについて意見交換、シャドーイング
11	志望動機① 志望動機を考えられる 時事問題⑩	志望動機をグループで考える ニュースについて意見交換、『20日で合格N1』 第7回 文法、シャドーイング
12	志望動機② 志望動機を書ける・述べられる 時事問題⑪	志望動機を書いて発表する ニュースについて意見交換、『20日で合格N1』 第8回 文法、シャドーイング
13	履歴書やESに必要な情報をまとめることができる、時事問題⑫	前期の内容を「自分カード」にまとめる、ニュースについて意見交換 『20日で合格N1』 第9回 文法、シャドーイング
14	期末試験	期末試験
15	期末試験解説	期末試験解説・総括

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『面接ワークブック』 『20日で合格N1』
参考文献・資料等	適宜配布
備考	